

2026年（令和8年）3月31日

福山市長様

住所 福山市大門町4-21-8

団体名 野々浜学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 坂本 致孝

2025年（令和7年）4月1日付け（福東地 第1号の3）で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を、次のとおり実施しました。

事業名

野々浜学区地域まちづくり推進事業

実施場所

野々浜小学校他

事業費

2,111,528円

補助金額

1,278,000円

着手年月日

2025年（令和7年）4月 1日

完成年月日

2026年（令和8年）3月31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

- 1 収支決算書
- 2 事業内容報告書
- 3 その他市長が必要と認める書類（監査結果の写し）

2025年度野々浜学区（町・地区）地域まちづくり推進事業 事業内容報告書

事業番号	事業名（内容）	詳細 （実施年月日、場所、参加人数など）	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返り をした場
1	環境美化事業	<p>①ふれあい公園維持管理 ・通年；各自治会毎月持ち回り 約130人 ・3月21日；遊歩道整備 さくらの木周辺雑木伐採 倉庫整理他 15人</p> <p>②バラ花壇維持管理（通年） ・松井公園，34人及び管理者 ・坂里公園，175人及び管理者 ・旭北公園，毎月10数名</p> <p>③学区内一斉清掃5月19日 ・学区内，約400人</p> <p>④年末クリーン作戦 12月7日 ・学区周辺 約210人</p>	<p>①まちづくり事業で整備したふれあい公園，バラ花壇の維持管理の継続 については学区民の理解が進んでいる。</p> <p>②一斉清掃やクリーン作戦も継続した環境美化事業として定着している。</p>	<p>①公園の維持管理やバラ花壇の維持管理への参加者が固定している自治会もあり，多くの人が参加して地域コミュニティの場を拡大していく必要がある。</p>	・2026年3月12日 推進委員会
2	世代間交流事業	<p>①子ども居場所づくり事業 交流館 ・琴教室8月6日、20日 15人 ・囲碁教室8月4日、18日 6人 ・科学実験教室8月5日 46人 ・防災教室8月18日 34人</p> <p>②子どもフェスティバル 交流館 53人 *カレー作り *子どもまちづくり大学 *けん玉、お手玉大会</p> <p>③ののはま子ども太鼓伝承事業 ・年6回練習 小学校</p>	<p>①子どもたちを中心とした事業を通して地域文化や歴史を伝承する基礎作りが進んでいる。</p>	<p>①子どもたちを通して世代間交流を進めているが一部の役員参加にとどまっている。幅広く参加者を募り活動するシステムを構築したい。</p> <p>②まちづくり補助金の使用制約があり次年度から内容を見直す。</p>	〃

〔様式12〕

		<p>25人×6回</p> <p>* 発表会：体育祭・学習発表会・CSA 感謝の会</p> <p>④世代間ふれあい事業（火おこし、飯盒炊飯）</p> <p>参加者 34人</p>			
3	ふれあい事業	<p>①学区民納涼盆踊り大会</p> <p>・8月2日；小学校 約1,000人</p> <p>②とんど祭り</p> <p>・1月12日；</p> <p>旭北公園約400人</p> <p>③ふれあい文化祭 交流館</p> <p>・10月19日</p> <p>来館者750人</p> <p>④ふくやま東部文化フェスタ2026</p> <p>・2月1日；東部支所</p> <p>⑤さくらウォーキング大会</p> <p>・3月28日；177人</p> <p>⑥東部ヒューマンカレッジ</p> <p>・11月16日；90人</p>	①学区民の親睦やふれあいに寄与できたと考えている。	<p>①参加者は、コロナ前と同程度となっているが、開催場所が遠く、高齢者の参加が難しくなってきた。高齢者の方が参加できる場所や方法についても検討していきたい。</p> <p>・とんどは各自治会でも製作した。</p> <p>②さくらウォーキング大会は次年度は中止としたい（事業が多く負担感が多い意見から）なお、学区から開催要望が大きくなったら再開の検討をする。</p>	〃
4	地域福祉事業	<p>①高齢者ふれあいグラウンドゴルフ大会；旭北公園</p> <p>・5月18日；26人</p> <p>・11月27日；36人</p> <p>②友愛訪問；学区内</p> <p>・3月1日；34人</p>	①高齢者が元気で地域で暮らせる事業として実施しているが参加者の固定化がみられた。	①参加者も役員も固定化し、また高齢になっており、この3年くらいで事業や世代交代について見直しが必要。	〃
5	地域安心安全事業	<p>①自主防災訓練；小学校他</p> <p>・11月22日</p> <p>* 一次避難訓練；307人</p> <p>* DIG 訓練；85人</p>	①自主防災訓練を通して地域防災や減災について学区民に周知を行っており一定の効果が出ていると考える。今年度は DIG 訓練を行い	①学区の自然災害や地震災害について一部の学区民の理解が得られていない。特に高齢者の避難支援については早急に整理が必要	〃

〔様式12〕

		<p>②防災啓発活動・備品整備 ・安心カードを高齢者約170人に配布</p> <p>③地域安全推進委員会活動 ・年間を通して活動 *約60人</p> <p>④高丸通学路安全対策・管理 ・6月1日, 12月7日 約56参加, 雑木伐採, 草刈</p>	<p>避難経路について検討した。</p> <p>②一人暮らしの高齢者に対して連絡先が記載できるカードを配し見守り活動のひとつとした。</p>	<p>②安心カードについては学区全体に広めていきたい。</p>	
6	まちづくり推進委員会 運営事業	<p>①年間を通して印刷費、電気代他</p> <p>②各種団体活動支援(年間)</p> <p>③まちづくりInstagram投稿</p> <p>④まちづくりテント屋根購入</p>	<p>①Instagramをとおして情報発信 フォロワー数287人(3月末)</p> <p>②屋根が劣化し、コーティングが剥離し今後のイベントに支障があるので、各事業を見直ししながら今年度購入</p>	<p>①広報活動が十分でないとの意見もあるがこれまでどおりInstagram活用した情報発信をしていく。</p>	”

監 査 結 果

2025年度（令和7年度）野々浜学区地域まちづくり推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ適正に事務処理が行われていることを確認しました。

2026年（令和8年）3月31日

野々浜学区まちづくり推進委員会

監 査

近森 規公美

監 査

中磯 滝子